

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-5
交通安全対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

交通規制課長 秦 昭博

電話番号

0852-26-0110 (代)

事務事業の名称	交通管制システム整備事業	
目的	(1) 対象	県民（運転者及び歩行者など道路利用者）
	(2) 意図	交通管制システムの整備を推進し、道路利用者の安全で円滑な交通を確保すると共に快適性を向上させる。
事業概要	○ 県民の生活がより安全で快適なものになるようにリアルタイムな信号制御、交通情報の収集・提供、並びに交通管制システムの高度化を推進することにより交通環境の高度化を図る。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	交通渋滞の発生時間	目標値		22,300.0	21,900.0	21,500.0	21,100.0	分
	式・定義	県内交通渋滞ワースト10交差点における300m以上の交通渋滞発生の平均時間	取組目標値						
			実績値	22,736.0	28,121.0	22,029.0			
			達成率	-	73.9	99.5	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	278,915	467,597
うち一般財源 (千円)	82,120	97,658

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○ 県内交通渋滞ワースト10交差点における年度間の渋滞発生平均時間は、平成29年度は22,029分(368時間)（前年比-6,092分(102時間)）と大幅に減少したものの目標値の達成には及ばなかったが、平成27年度以降最少となった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

○ 大手前通り（県道本庄富富松江線）の4車線化供用に向けて、米子町交差点等における円滑化対策や信号制御等の調整に取り組んだ結果、一部の交差点において交通の円滑化における成果があった。 また、交通事故等による交通障害発生時には、ドライバーに対する交通情報板、カーナビによる情報提供や、日本道路交通情報センターからのラジオ放送や電話問合せに対する情報提供も渋滞解消につながっている。
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国道9号東出雲付近や宍道湖大橋における渋滞が慢性化している状況にある。また、夏休み期間や行楽シーズンには観光客の増加に伴い渋滞の拡大が懸念される。 ○ 道路利用者の安全で円滑な交通を確保するため、交通管制システムの高度化を推進する必要があるが、端末システムの更新必要数も増加している。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通管制プログラムの更なる高度化を行わなければ、刻々と変化する交通流に対する信号秒数等の調整が追いつかない。 ○ 交通管制システム等の老朽化に伴い、更新必要数が増加している。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通管制プログラムの更なる高度化を検討する必要がある。 ○ 老朽化した交通管制システム等を計画的に更新していくとともに、道路利用者の安全で円滑な交通の確保に向けたシステムの高度化を推進する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通管制プログラムの更なる高度化を検討する。 ○ 老朽化した交通管制システム等を計画的に更新していくとともに、交通管制センターから信号制御可能な管制エリアの拡大、交通管制センター中央装置の高度化等の計画的整備を推進する。
